

令和7年2月22日

黒崎小学校 保護者の皆様へ

黒崎小学校長 山口 義明

## 令和6年度学校評価アンケート結果について（お知らせ）

春陽の候、保護者の皆様方には益々ご健勝のことと存じます。日頃は、本校教育に深いご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年度学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございます。その結果についての成果と課題を次のようにご報告いたします。アンケート詳細な結果は、別添（アンケート結果）をご覧ください。なお、この結果は、本校教育の改善と充実を図るために活用させていただきます。また、児童・保護者アンケートの考察を添えてホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

### 1 R6 児童アンケート成果と課題

#### 成果

#### 1. 教師の指導力と信頼関係の構築

10. 先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる	93.6%	91.1%	93.7%
--------------------------------	-------	-------	-------

教員の指導力が高く評価され(91-95%)、生徒との信頼関係が構築できてきています。ICT（デジタル教科書等）を活用した視覚的な説明や、個別指導の充実により、「分かった」「できた」という実感を持てる授業が展開されつつあります。特に、つまずきのある児童に対しては、きめ細かな指導について検討し、教員が協力して指導にあたっています。また、児童の悩みや相談に対しても、担任を中心に丁寧な対応が行われていることが、成果として表れています。

#### 2. 基本的な学習習慣の定着

6. 宿題はきちんとしている	91.8%	92.1%	90.6%
----------------	-------	-------	-------

R4～R6の3年間ともに90%以上をキープしており、基本的な学習習慣が定着しています。宿題の内容も、基礎的な学習の定着を図るドリル等の学習に加え、鳴門市が全市で導入しているAIドリル（Qubena）の活用等ICTを活用した家庭学習への取り組みが成果として表れています。

#### 3. 安全・防災への高い意識

21. 事故などにあわないよういつも気をつけている	92.7%	96.0%	94.9%
22. 避難訓練などは、真剣に取り組んでいる	95.4%	96.0%	94.5%

安全・防災意識が非常に高く、避難訓練や事故防止への意識が優れている結果がでています。避難訓練では、定期的にいろいろなシチュエーションを想定した避難訓練を実施し、だんだんと自分事として考え真剣に取り組む児童の姿が多く見られるようになってきました。地震や想定した避難訓練では、自主防災会様の協力もいただき、子ども達も実践的な避難訓練を行うことができました。日常的な安全点検や声かけ等も含め、今後も安全・防災の意識向上を目指し、取組を進めてまいります。

#### 4. いじめ防止への意識の向上

23. いじめはどんな理由があってもいけないことである	97.2%	92.1%	94.5%
-----------------------------	-------	-------	-------

いじめ防止への意識が高く3年間ともに90%以上を保っています。道徳的な価値観が育っているとと言えます。定期的なアンケートを実施し、個別面談をして早期発見・早期対応に努めています。昨年11月2日には、人権授業参観、12月17日には、県下一斉で「いじめ防止一斉学習」を実施する等、いじめ防止への意識向上にむけた取り組みを充実させています。

#### 5 グループ学習への積極的な参加

7. グループで調べたり, 話し合ったりする学習が好きである	86.2%	90.1%	86.2%
--------------------------------	-------	-------	-------

グループ学習への積極的な参加と協調性の育成ができています。

ペアワークやグループワークを通じた話し合いや発表の機会を増やし、自分の考えを効果的に伝える力の向上を目指しています。特に総合的な学習の時間では、地域に目を向け、多くの方をゲストティーチャーとして招き、課題解決に向けたグループ活動を行うことで、自主的に学ぶ意識が育ってきました。さらに、異学年での発表会や交流会も活発に実施され、学年を超えた学びの機会が充実してきました。

#### 課題

##### 1. 自己肯定感の低下

9. 自分には、よいところがある	80.7%	80.2%	70.3%
------------------	-------	-------	-------

自己肯定感の低下傾向が顕著で特に R6 年度では、「自分には良いところがある」と答えた児童が前年度比 10%減少している。

##### 2. 読書習慣の未定着

24. 本をよく読んでいる	78.0%	68.3%	69.5%
28. 週3日以上, 家で読書しようとしている	-	60.4%	60.4%

読書習慣の定着が不十分な状況にあります。習い事の増加や生活リズムの多様化により、

家庭での読書時間の確保が困難になってきています。また、スマートフォンやタブレット等のデジタル機器の普及により、紙の本に触れる機会が減少していることが原因と考えられます。

### 3. 地域の行事参加への課題

18. 地域の行事に参加している	50.9%	64.4%	65.2%
------------------	-------	-------	-------

地域行事への参加率が低い。保護者の仕事の都合や、児童の習い事との両立等も課題と思われれます。また、地域行事の情報が十分に伝わっていない可能性もあり、周知の方法についても考える必要があります。

### 4. 集中力の低下

5. 授業中、人の話を集中して聞いている	92.7%	88.1%	81.9%
----------------------	-------	-------	-------

令和4年度の92.7%から令和6年度には81.9%まで約10ポイントの低下が見られ、80%台は維持しているものの、大きな課題となっています。

この集中力低下の背景には複数の要因が考えられます。特に、指導を要する児童への個別対応に時間を要することで、授業時間中の全体的な集中力が低下していること、また教師による興味関心を引き出す教材準備や授業力向上の必要性が課題として挙げられます。

### 5. 挨拶・会釈の課題

15. 先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている	92.6%	88.1%	79.4%
29. えしゃくをしている	-	87.1%	75.7%

教職員に対する挨拶は比較的できているものの、友達同士や地域の方々への自発的な挨拶が消極的な状況にあります。この背景には、家庭でのしつけや基本的な礼儀作法の指導機会の減少が一因として考えられます。また、時と場所に応じた適切な挨拶の使い分けについても、今後の重要な指導課題となっています。

## 2 保護者アンケート成果と課題

### 成果

#### 1. 子どもがよいことをしたときの褒める姿勢の強化 (⑧)

⑧子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている	93.3%	94.9%	96.7%
---------------------------	-------	-------	-------

R4からR6にかけて、積極的に褒める割合が93.3%から96.7%に増加しており、子どもの良い行動を評価する文化が強化されています。R6では96.7%と非常に高い数値を記録してい

ます。家庭や学校が積極的に子どもの良い行動を認め、褒めることに努めていることを示しています。

## 2. 交通安全意識の向上 (18)

<b>18 子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている</b>	<b>93.3%</b>	<b>96.0%</b>	<b>97.2%</b>
----------------------------------	--------------	--------------	--------------

「子どもが交通ルールを守るよう、働きかけている」がR4の93.3%からR6の97.2%に増加しており、家庭や学校での交通安全教育が効果を発揮しています。

毎朝の立哨指導も、保護者の方のお手伝いをいただき、子どもたちが安全に登下校することができています。

## 3. PTAや地域との連携の強化 (26)

<b>26 学校は、PTAや地域と連携して開かれた学校づくりに努めている</b>	<b>78.9%</b>	<b>91.9%</b>	<b>95.2%</b>
--	--------------	--------------	--------------

PTAや地域との連携が78.9%から95.2%に向上しており、地域コミュニティとの協力がより強固になっています。

コミュニティセンターが、新しくできたことで、そこを会場としてのさまざまなイベントや行事に子ども達もたくさん参加させていただき、PTAや地域との関わりが増えたことが要因と思います。

## 4. 学校からの情報発信の改善 (21)

<b>21 学校から、情報が十分発信されている</b>	<b>74.1%</b>	<b>84.8%</b>	<b>85.3%</b>
-----------------------------	--------------	--------------	--------------

学校からの情報発信がR4の74.1%からR6の85.3%に増加しており、保護者とのコミュニケーションが改善されています。

本校では、学校からの情報発信や、保護者からの児童の欠席連絡等、多くの情報をマチコミメールで発信しています。各学級の取組も以前は学級通信として紙媒体で1月1枚程度の発刊だったものがマチコミで活動の様子を発信することにより、リアルタイムな情報をお届けすることができていることが要因の1つではないかと思えます。

## 5. 子どもと社会や将来の話題についての対話の増加 (15)

<b>15 子どもと社会や将来のことを話し合っている</b>	<b>70.1%</b>	<b>80.8%</b>	<b>84.7%</b>
--------------------------------	--------------	--------------	--------------

社会や将来のことを話し合う割合が70.1%から84.7%に増加し、子どもと親の間での未来についての対話が増えています。

③学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる	84.7%	92.9%	89.7%
⑥子どもは、家庭学習（宿題）をきちんとしている	84.6%	81.8%	88.9%
⑭子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている	94.3%	93.9%	90.7%

そのほか③学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。⑥子どもは、家庭学習（宿題）をきちんとしている。⑭子どもは人のことを大切にして、友達となかよくしている。の各項目についても高い水準を維持しています。

## 課題

### 1. 子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる①

①子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる	77.9%	78.8%	71.2%
-------------------------	-------	-------	-------

「子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる」がR4の77.9%からR6の71.2%に減少しており、学習意欲の維持が課題と考えている保護者が増加しています。

### 2. 挨拶の頻度の減少（⑬）

⑬子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている	80.7%	83.8%	68.1%
-------------------------------	-------	-------	-------

先生や友達への挨拶をする割合が80.7%から68.1%に減少し、基本的な社会的マナーの低下を心配している保護者が増えています。

### 3. 読書習慣の不足（⑳㉘）

㉓子どもは進んで読書している	45.2%	54.5%	46.2%
㉘子どもは、週末読書をしようとしている		40.4%	32.2%

読書習慣がR4の45.2%からR6の46.2%と低水準で横ばいであり、読書に対する意欲の向上が必要です。

週末に読書をしようとする子どもの割合がR6で32.2%と低く、読書活動の推進が必要です。

### 4. 粘り強さの維持（⑨）

⑨子どもは何事にも粘り強く取り組む	56.8%	70.7%	63.5%
-------------------	-------	-------	-------

粘り強く取り組む子どもの割合が70.7%から63.5%に減少しており、継続的な努力を支援する取り組みが求められます。

### 5. 運動習慣の定着（㉙）

㉙子どもは、毎日運動をしようとしている		66.7%	54.4%
---------------------	--	-------	-------

毎日運動をしようとする割合がR6で54.4%に留まっており、日常的な運動習慣の促進が課題です。

## 6. 防災意識の維持 (19)

⑱子どもと防災のことについて、家で話し合っている	66.4%	78.8%	69.0%
--------------------------	-------	-------	-------

「子どもと防災のことについて、家で話し合っている」がR4の66.4%からR6の69.0%に増加したものの、引き続き防災意識の強化が必要です。

### 3 学校関係者評価の意見

- ・授業参観から取組の成果がよく表れていた。各学年が特徴的な授業を工夫しており、子ども達も熱心に取り組んでいた。
- ・授業改善については、まず「聞くこと」のルール作りを徹底してもらいたい。「聞くこと」ができるようになることが「話すこと」の大前提。「聞くことのルール」は学年によって求められる水準が異なるため、1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に応じた指導をお願いしたい。
- ・アンケートでは「いじめはどんな理由があってもいけないことである」という項目で高い数値を維持しているが、全ての児童がこの認識を持てるよう、さらなる指導をお願いしたい。
- ・児童からの自主的な挨拶が減少傾向にある。学校を、積極的に挨拶ができる場として育ててほしい。
- ・コミュニティセンターが完成し、地域の人々と子ども達による積極的な活用が進んでいる。今後もさらなる活用の広がりを期待します。

### 4 おわりに

本校の教育評価において、R4 から R6 にかけて様々な領域で進展が見られました。特筆すべき成果として、コミュニティ全体での教育支援体制が着実に強化されており、子どもを褒める文化の定着や、交通安全意識の向上、PTA や地域との連携強化が挙げられます。

一方、課題として、特に学習意欲や粘り強さ、挨拶やマナー、読書習慣、デジタル機器の使用ルールの遵守等、児童の基本的な生活習慣や学習態度において改善の余地が見られます。また、児童の自主性や学習意欲に関する指標も低下傾向にありました。

これらの課題に対応するため、次年度の重点的な取り組みとして、以下の5つの施策を実施していきます。

第一に、児童の自己肯定感向上に向けて、学級内での評価共有や、Feelbot を活用した心理状態の可視化等、児童のよさを積極的に見出し、褒める機会を増やします。

第二に、読書習慣の定着を図るため、朝読書の時間を充実させ、家庭と連携した取り組みを展開します。

第三に、地域との連携を強化し、総合学習での地域教材の活用を促進します。

第四に、授業での聞き方指導を見直し、「聞き方のルール」の明確化や、ICT 機器の効果的な活用等集中力を高める学習環境の整備に取り組みます。

第五に、体育の授業改善と運動習慣の定着を目ざし、休み時間の外遊びを励行するとと

もに、個々の児童に応じた指導と達成感を味わえる教材開発を進めていきます。

これらの施策を通じて、児童一人一人の成長を支援し、学校全体の教育の質の向上を目指します。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、教職員一同、次年度も児童の健やかな成長のために全力を尽くしてまいります。これからも地域に根ざした、信頼される学校づくりに取り組んでまいります。